

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 15. 11. 2024

製品: 2-ETHYLHEXANOL

バージョン: 9.2

(30034817/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

2-ETHYLHEXANOL

用途: 化学品

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

引火性液体: 区分4

急性毒性: 区分5 (経口)

急性毒性: 区分4 (吸入ーミスト)

皮膚刺激性: 区分2

眼刺激性: 区分2A

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分3 (呼吸器系を刺激する)

水生環境有害性 短期 (急性): 区分3

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
警告

危険有害性情報:

H227	可燃性液体。
H319	強い眼刺激。
H315	皮膚刺激。
H332	吸入すると有害。
H303	飲み込むと有害のおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H402	水生生物に有害。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P271	屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
P280	保護手袋と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P261	ミストの吸入を避けること。
P280	保護眼鏡を着用すること。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P273	環境への放出を避けること。
P261	ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378	火災の場合：消火するために…を使用すること。

注意書き（保管）:

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。
------	---

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

2-エチルヘキサン-1-オール (含有量 (W/W): > 99.5 %)

CAS番号: 104-76-7

化審法: (2)-217

労働安全衛生法: (2)-217

GHS分類に寄与する成分

2-エチルヘキサン-1-オール

含有量 (W/W): > 99.5 % - ≤ 100 %

CAS番号: 104-76-7

化審法: (2)-217

労働安全衛生法: (2)-217

引火性液体: 区分 4

急性毒性: 区分 5 (経口)

急性毒性: 区分 4 (吸入-ミスト)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A

特定標的臓器毒性（単回暴露）: 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

化学式: C8 H18 O

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

危険有害事項: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末、噴霧水、二酸化炭素、泡

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[追加情報]:

周囲の環境に適した消火方法をとること。

[火災時の特有の危険有害性]:

引火性液体 容器を噴霧水で冷却する。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用のこと。消防士のための特別な保護具

[追加情報]:

関係者以外を立ち入り禁止。消火作業は可能な限り火から離れて行うこと。

[追加情報]:

消火対策を周囲に拡張する。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

あらゆる着火源(熱、スパーク、裸火など)を近づけない。帯電防止器具を使用すること。

[環境に対する注意事項]:

環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

適切な器具を用い回収し、廃棄すること。こぼれた製品は回収し、固化させ、廃棄用の適切な容器に入れる。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

物質／製品の放出は火災又は爆発を引き起こすことがある。漏出の原因を遮断又は停止させる。物質／製品の漏出は安全な条件下で遮断又は停止させること。

廃棄する為には固く閉めた容器に詰める。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

安全取扱注意事項:

あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。運搬機器にはアースをし、静電気防止措置をとる。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。
乾燥窒素下で保管すること。容器開封時は窒素で覆うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

2-エチルヘキサン-1-オール, 104-76-7;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5.3 mg/m³ ; 1 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 5 ppm (ACGIHTLV)

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：有機化合物（沸点65℃以上）のガス／蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

ニトリルゴム (NBR)、肉厚0.4 mm

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	無色
臭い:	アルコール臭
臭いのしきい値:	測定されていない。
pH:	中性, 難溶
融点:	-89 ° C (ASTM D97)
沸点:	186 ° C (OECDテストガイドライン 103) (1,013 hPa)
引火点:	75 ° C (密閉式)
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。
可燃性 (固体/ガス):	可燃性液体。 (引火点から導きだした)
爆発下限界:	0.88 % (V) 文献データ, 爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
自然発火温度:	280 ° C (EU指令 92/69/EEC, A. 15)
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 15. 11. 2024
製品: 2-ETHYLHEXANOL

バージョン: 9.2

(30034817/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

自己発火性:	自己発火性なし。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	(その他)
火災を引き起こす性質:	構造的特长に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	(その他)
蒸気圧:	0. 93 hPa (20 ° C)	(OECDテストガイドライン 104)
密度:	0. 832 g/cm3 (20 ° C)	(ASTM D4052)
相対密度:	0. 832 (20 ° C)	(ASTM D4052)
相対ガス密度 (空気):	4. 49 (20 ° C) 空気より重い。	(算出)
水に対する溶解性:	0. 9 g/l (20 ° C)	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	2. 9 (25 ° C; pH: 7)	(OECDテストガイドライン 117)
吸着/水-土壌:	KOC: 35. 28; log KOC: 1. 55	(算出)
表面張力:	47 mN/m (20 ° C; 0. 81 g/l)	(OECDテストガイドライン115)
粘度:	9. 845 mPa. s (20 ° C)	
モル質量:	130. 23 g/mol	

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
着火源を近づけない。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
強酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
加熱すると、引火性蒸気を放出する可能性がある。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): 2, 047 mg/kg (OECDテストガイドライン401に類似)

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 0, 89 - <= 5, 3 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403に類似)
エアゾールで試験した。

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 3, 000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

急性毒性の評価

単回の摂取であれば、低毒性である。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。短期間の吸入により中程度の毒性。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

刺激性

刺激性作用の評価:
眼に入ると、刺激する。皮膚接触により刺激を生じる。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン405)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

本物質は、ヒトに対して皮膚感作性を起こさなかった。

実験または計算によるデータ:

ヒトにおけるMaximization試験 ヒト: 感作性なし

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

微生物および哺乳類の培養細胞を用いた種々の試験において、変異原性は認められなかった。哺乳類を用いた試験では、本品は変異原性を示さなかった。

発がん性

発がん性の評価:

この物質が強制経口投与されたラット及びマウス長期試験では、発癌性は認められなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

気道を刺激する可能性がある。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

誤えん有害性

適用せず

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対し急性の有害性がある。長期（慢性）毒性試験データに基づき、水生生物に対し有害性が認められる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) 17.1 mg/l, ウグイ（学名 *Leuciscus idus*）(OECDテストガイドライン203、ISO 7346、84/449/EEC, C., 流水式)

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 39 mg/l, オオミジンコ（学名: *Daphnia magna*）(EU指令 84/449/EEC, C. 2, 止水式)
名目濃度

水生植物:

EC50 (72 h) 21.0 mg/l (成長率), 緑藻（学名: *Scenedesmus subspicatus*）(EU指令 88/302/EEC 第C部、89ページ)
名目濃度

EC10（10%影響濃度）(72 h) 7.41 mg/l (成長率), 緑藻（学名: *Desmodesmus subspicatus*）(EU指令 88/302/EEC 第C部、89ページ)
名目濃度

微生物/活性汚泥への影響:

データなし。

魚類に対する慢性毒性:

その他 (30 日) 0.278 mg/l, ゼブラフィッシュ（学名: *Brachydanio rerio*）(OECDテストガイドライン 210, 流水式)
毒性に関する記述は、実測濃度による。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

EC10（10%影響濃度）(21 日), 1.53 mg/l, オオミジンコ（学名: *Daphnia magna*）(OECDテストガイドライン 211, 半止水式)
毒性に関する記述は、実測濃度による。

陸生生物に対する毒性の評価:

移動性

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。
土壌の固相には吸着しないと考えられる。

残留性・分解性

除去情報:

79 – 99.9 % ThOD（theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量）に対するBOD (14 日) (OECDテストガイドライン301C、ISO 9408、92/69/EEC, C.) (好気性, MITI基準 (OECD 301C) に準じた接種試料)

水中での安定性評価:
データなし。

水中における安定性に関する情報（加水分解）:
データなし。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
生物への著しい蓄積はないと考えられる。

生体蓄積性:
データなし。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):
本製品は有機ハロゲンを含有しない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

国あるいは地方の法令に従って廃棄すること。

[汚染された容器]:
正式な規則にしたがって廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG
輸送規則では危険有害性物質に分類されてい

Sea transport

IMDG
Not classified as a dangerous good under

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 15. 11. 2024
製品: 2-ETHYLHEXANOL

バージョン: 9.2

(30034817/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 21.10.2025

ない		transport regulations	
国連番号もしくはID番号:	非該当	UN number or ID number:	Not applicable
品名 (国連輸送名):	非該当	UN proper shipping name:	Not applicable
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
	海洋汚染物質: 非該当		Marine pollutant: no
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

航空輸送
IATA/ICAO
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号: 非該当
品名 (国連輸送名): 非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 非該当
容器等級: 非該当
環境有害性: 非該当
使用者への特別注意事項: 知見なし

Air transport
IATA/ICAO
Not classified as a dangerous good under transport regulations
UN number or ID number: Not applicable
UN proper shipping name: Not applicable
Transport hazard class(es): Not applicable
Packing group: Not applicable
Environmental hazards: Not applicable
Special precautions for user: None known

指針番号: 128

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

米国クリーニング協会 (ACI) 製品成分リスト
ACI Ingredient Inventory (US)
09 2012
該当物質

米国クリーニング協会 (ACI) 製品成分リスト
ACI Ingredient Inventory (US)
2017
ACI Inventory Supporting Compound
該当物質

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。